

1. はじめに

1-1 背景

西三河は、愛知県内 6 地域の 1 つで、県のほぼ中央部を縦断しており、豊田市・岡崎市・安城市などの 9 市 1 町で構成されている。古墳時代に、尾張・三河・穂の 3 つに区分され、そのうちの「三河」が現在の西三河、「穂」が東三河と推察されており、尾張との境には、通称「境川」が流れている。

西三河の人口は約 161 万で、豊田市、岡崎市、安城市の順となっており、人口動向では、高浜市以外は減少傾向にあり、転出よりも転入が多いのは、碧南市、西尾市、高浜市の 3 市のみである。

西三河の歴史や文化などについてみてみると、西三河の歴史は古く、ヤマトタケルノミコトの古代から、奈良時代や平安時代にかかる遺跡、そして戦国時代の徳川家康由来の建物や出来事などが多く存在している。文化では、刈谷市の「知立の山車文楽とからくり」、高浜市の「おまんと祭り」など無形民俗文化財に登録されているものもある。豊かな自然環境にも恵まれており、刈谷市の小堤西池は国の天然記念物に指定されている。

産業では、豊田市をはじめとする自動車産業はもちろん、豊かな自然を生かした農業も盛んで、特産品も、岡崎市の八丁味噌や各種農産物など多数ある。また、豊田市足助の町並み、西尾市佐久島など、観光資源も多く、西三河は、多彩で魅力的な特色を持つ地域であるといえる。

こういった西三河の各市町の総合計画や将来都市像をみてみると、共通するのは、まちの人口増加や産業振興をねらいに、観光への取り組みに力を入れていることで、自分のまちだけではなく、近隣市町と連携して観光資源の発掘や魅力の発信に力を入れたいという市もある。西三河の食べ物や観光などを特集している「西三河ぐるっとナビ」もあり、西三河全体で観光を推進しようという機運がうかがえる。

また、2023 年の大河ドラマ「どうする家康」にちなんで、西三河観光は一層盛り上がり、「あいち家康戦国絵巻」といったサイトも作られている。

こういった特徴を持つ西三河であるが、各まちの市民意識をみてみると、まず、「住み続けたいか」については、10 代後半から 20 代の定住意識が低く、「市への愛着や誇り」についても、20 代から 30 代が低い傾向にあることがわかった。

このように、西三河には、多彩な特色と魅力があり、地域が一体となって、これらの魅力を伝え、観光を盛り上げようとする機運もある一方で、人口の漸減傾向などもみられ、地域への定住意識や愛着は、10 代～30 代では相対的に低いことがわかった。

こういったことから、西三河内外の若い世代をターゲットとして、地域の魅力を伝え、観光を盛り上げて人を呼び込み、地域への移住や定住につなげることが大切であると考えた。

1-2 目的

そこでこの研究では、西三河の特色と魅力を伝えることができるような何らかの紙媒体の作成や、若者視点からの新たな西三河ツアーの考案・体験、これらの SNS 発信などを企画することにした。

具体的には、西三河の特色を一覧できる紙媒体や、季節ごとの地域の特色と魅力を伝えることができるような若者向けツアーの考案、これを示す紙媒体の作成と各市町への提供・配布、これらに関する SNS 発信などである。

1-3 方法

研究の方法は、以下のとおりである。

①西三河の 9 市 1 町の関連資料の整理、②紙媒体関連の情報収集、試作版作成、意見収集、完成版作成と提供・配布、③若者向けツアー関連の情報収集、ツアー実施、ツアーを提示した紙媒体の試作版作成、意見収集、完成版作成と提供・配布、④SNS 発信のための情報・写真・資料収集、発信、意見収集、発信。

2. 諸活動の概要

2-1 活動の流れ

実施した活動は以下のとおりである。

- | | |
|----------|---------------------|
| 1 月下旬～ | 各市町の基礎資料収集 |
| | 各市町に市民調査結果等の問い合わせ |
| 3 月 4 日～ | Instagram 開設、投稿継続 |
| 3 月 15 日 | 「西三河ぐるっとナビ」モデルコース体験 |
| 3 月下旬～ | 紙媒体の形式と取り上げる項目の検討 |
| 4 月中旬 | 各市町に紙媒体形式と項目確認 |
| 5 月 24 日 | 「西三河ぐるっとナビ」モデルコース体験 |
| 6 月 15 日 | 西三河巡り（6 月版考案コース体験） |
| 7 月 27 日 | 西三河巡り（7 月版考案コース体験） |

- 8月初旬～ 冊子（紙媒体）案作成
- 8月25日 西三河巡り（8月版考案コース体験）
- 9月18日 西三河巡り（9月版考案コース体験）
- 9月19日 Tik Tok 開設、投稿継続
- 10月18日 西三河巡り（10月版考案コース体験）
- 10月25日 安城市の地域施設「アンフォーレ」にて 冊子試作版展示と意見収集
- 11月初旬 各市町に冊子試作版提示と意見収集
- 11月19日 知立市「寺の市」にて冊子試作版展示と 意見収集
- 11月22日 西三河巡り（11月版考案コース体験）
- 12月6日 西三河巡り（12月版考案コース体験）
- 12月初旬 収集した意見にもとづき修正の上、完成版原 稿作成、印刷依頼
- 1月10日～ 各市町への完成版提供・配布

2-2 活動内容と意見収集

①各月のモデルコース考案と体験ツアー実施

毎月、季節に合わせた西三河のモデルコースを考案し、実際に体験した（写真2-1）。いずれのツアーも、おおむね7時間を目安に観光スポットや飲食店などを6箇所ほど回った（本稿では、このツアーを「西三河巡り」と称する）。



写真2-1 西三河巡りの様子

②冊子作成・試作版展示・意見収集

ネット等から収集した情報、各市町への問い合わせにより得た情報、西三河巡りなどをもとに、2種類の冊子を作成することとした。一つは西三河9市1町の産業や歴史、人物等の豆知識をまとめた情報とメッセージカード冊子、もう一つは西三河巡りを紹介した観光ツアー冊子である。

これら冊子の試作版を作成し、安城市の地域施設「アンフォーレ」や知立市「寺の市」に展示、出店したところ、「デザインが見やすくて可愛い」「実際にやってみたいと思った」などの意見を得ることができた（写真2-2）。

③各役所での試作版提示と意見収集

11月初旬に各市町の役所を訪問し、冊子の試作版提示と意見収集を行った（写真2-3）。「若者向けのデザインがよい」「イベントが組み込まれているのがよい」「おもしろい」等の意見とともに、「表紙が寂しい」「使い方がわかり



写真2-2 地域展示と意見収集 写真2-3 役所提示と意見収集

にくい」等の指摘もあった。

④SNS発信と意見収集

西三河の基本情報、冊子に掲載する豆知識（産業、歴史、人物など）、西三河巡りの様子などを順次投稿した。西三河巡りについてはリール動画とした。Instagramでは、カフェやグルメの投稿にいいね！が多く得られ、Tik Tokでは、豆知識に関する投稿の再生回数が多かった。

⑤紹介冊子の提供・配布

完成版冊子は、各役所や観光協会、デンパーク、丈山苑等の施設に提供・配布した。

3. 西三河紹介冊子① 豆知識&メッセージカード

3-1 項目の選定と特徴

西三河についての情報を150個以上集め、ジャンルや市によってあまり偏らないよう84個選定し、それらを「伝統」「産業」といった8つのジャンルに分けた（表3-1）。

表3-1 冊子で取り上げた豆知識項目

歴史的出来事	自然環境	歴史的・人物
一向一揆	桜	本多 平八郎忠勝
明治用水	花	大久保 忠教
伝統	小提西池	鈴木 正三
桜井廻	香嵐渓	石川 丈山
八橋かきつばた園	地形（安城市）	都築 弥厚
安城芸妓	地形（西尾市）	松平 親氏
知立公園花しょうぶ園	地形（高浜市）	榎原 康政
文化財	公園	徳川 家康
金蓮寺弥陀堂	地形（幸田町）	渡邊 半蔵守綱
知立神社多宝塔	有名人	田中 吉政
太刀〈鉄正恒〉附	M!LK 佐野勇斗	山中 信天翁
糸巻太刀拵	青木源太	伊豫田 与八郎
三河万歳	平泉成	松本 奎堂
鳥羽の火祭り	櫻井孝宏	水野 勝成
岡崎ゲンジボタル発生地	ガンバレルーヤよしこ	大給 恒
島原藩主深溝松平家墓所	ジャングルポケット	近藤 坦平
人面文壺形土器附	太田博久	内藤 魯一
線刻土器片	コージー富田	古橋 源六郎義眞
木造阿弥陀如来坐像	福田彩乃	清沢 満之
木造觀音菩薩坐像	加藤ミリヤ	産業
特産品	東海オンエア	石材
八丁味噌など	加治良美	八丁味噌
白しょうゆなど	羽根田卓也	しょうゆ
すいかなど	中村明彦	自動車工業都市
桃など	オカダ・カズチカ	クルマのまち
米など	中野たむ	日本のデンマーク
抹茶など	石川真佑	食べ物・植物・製造業
あんまきなど	中川美柚	渡船場・瓦
高浜とりめしなど	田村優	企業多数
ぶどうなど	山本萌恵子	筆柿
筆柿など		

3-2 完成版「豆知識&メッセージカード」

豆知識とメッセージカードを合体させた冊子型にすることで、様々な情報が一度に得られ、何かを渡すとき等にちょっとしたメッセージを添えることもできるようにした。こうすることで、カードを送った相手にも西三河をもっと知ってもらえると考えた（図 3-1）。カードの形状によって 1 ページを 3~6 項目で構成し、各カードにミシン目を入れて切り取りやすくした。

表紙の「西三河」のロゴは、「西」を太陽、「三」を川に見立て、日の出を連想させるデザインとして表紙に用いた（図 3-2）。



図 3-1 冊子の形状



図 3-2 「西三河」ロゴ、表紙、裏表紙

冊子の各ページは、表面に豆知識のイラストと説明を入れ、裏面をメッセージ記入欄とした。表面には、イラストにぎっくりとした色付けをすることで、各項目がイメージしやすくなり、興味を持って楽しく西三河を知ってもらえるようにした。また、ジャンルごとに色分けしてわかりやすくするとともに、カードの淵にジャンルの色をつけてカラフルにして、できるだけ若者の目をひくようなデザインを試みた。図 3-3~3-10 は、ジャンル別のカード例を示している。

図 3-3 は、「歴史的出来事」のなかの「西三河全域」の「一向一揆」の表面と裏面である。他のカードも裏面にこのようにメッセージ記入欄を設けている。

図 3-4 は、「伝統」のなかの安城の「安城芸妓」「桜井凧」、図 3-5 は、文化財のなかの西尾市の「金蓮寺弥陀堂」「鳥羽の火祭り」、同じく碧南市の「木造阿弥陀如来坐像」である。



図 3-3 歴史的出来事（表面と裏面）



図 3-4 伝統



図 3-5 文化財



図 3-6 特産品



図 3-7 自然環境



図 3-8 有名人



図 3-9 歴史的的人物



図 3-10 産業

図 3-6 は、「特産品」のなかの高浜市の「高浜とりめし」、同じく西尾市の「抹茶、カーネーション」など、同

じく刈谷市の「すいか、大根、白菜」である。

図 3-7 は、「自然環境」のなかの豊田市の「香嵐渓」、同じく岡崎市の「日本さくら 100 選」に選ばれた「岡崎公園」など、同じくみよし市の「三好丘緑地」「三好公園」である。

図 3-8 は、「有名人」のなかの岡崎市の「東海オンエア」「田村優」、同じく豊田市の「加藤ミリヤ」である。

図 3-9 は、「歴史的・文化的財」のなかの安城市の「石川丈山」、同じく岡崎市の「本多平八郎忠勝」、同じく豊田市の「榊原康政」である。

図 3-10 は、「産業」のなかの高浜市の「渡船場・瓦」、同じくみよし市の「自動車工場など多数」、同じく岡崎市の「八丁味噌」である。

4. 西三河紹介冊子② 観光ツアー案内

①冊子のねらい

西三河内外の若い世代を主なターゲットとして、冊子を通して西三河の多彩な魅力を知ってもらうことで、地域内の人には、地域への愛着や誇りと定住意識を高めてもらい、地域外の人には、西三河に関心を高め観光や移住への関心を高めてもらうことをねらいとした。

②表紙、裏表紙、西三河紹介ページ

表紙には、西三河の主な観光スポットや、ツアーで訪れた場所の写真を多く入れ込み、若い世代の目にとまるよう工夫した(図 4-1)。裏表紙には、2024 年のカレンダーを入れて、西三河訪問のスケジュールを練ることができるようとした。

表紙の裏には、西三河に関する基本情報と歴史、西三河の市町名を記載し、次のページには、地域の地図と写真を載せ、西三河全体を俯瞰できるようにした(図 4-2)。

さらに次のページには、冊子の見方を記載した。春はピンク、夏は黄緑、秋は茶色、冬は水色というように色分けて、季節に応じたツアーであることがわかるようにした(図 4-3)。

③季節のツアーページ

ツアー紹介のデザインは Instagram のような写真を用いて若者に注目されるように工夫するとともに、各スポットの紹介も行い、必ずしもツアーに関心のない人でも冊子を手に取ってもらえるようなデザインにした。また、いずれのツアーでも季節のイベントを 1 つ組み込んで、地域でのイベントを知ってもらい、季節感をより感じができるように心がけた(図 4-4~4-12)。

④春のページ

春ツアー 1 では、チューリップを楽しみながら、みよし市・刈谷市・高浜市・岡崎市を巡るツアーを紹介(図 4-4)、



図 4-1 表紙と裏表紙



図 4-2 西三河の基本情報



図 4-3 冊子の見方説明



図 4-4 春ツアー1



図 4-5 春ツアー2



図 4-6 夏ツアー1



図 4-7 夏ツアー2



図 4-8 夏ツアー3

春ツアー2では、西尾市の観光名所を巡りつつ、春が見頃の花菖蒲を西尾市・岡崎市で見るツアーを紹介している(図4-5)。

⑤夏のページ

夏ツアー1では、梅雨の時期が見頃の紫陽花を楽しみつつ、幸田町と西尾市方面まで巡るツアーを紹介している(図4-6)。このツアーからはInstagramにも動画配信を始めたので、そのQRコードを右下に記載している。

夏ツアー2では、ブルーベリー狩り体験を盛り込んだ、みよし市・豊田市・刈谷市・知立市を巡るツアーを紹介し、夏ツアー3では、涼しい室内で楽しめる水族館、夏に見頃の向日葵を見るイベント、夏を味わう夏詣のイベントなどを組み込んだ碧南市・西尾市・安城市・刈谷市を巡るツアーを紹介している(図4-8)。

⑥秋のページ

秋ツアー1では、屋外で存分に遊ぶことのできる遊園地を組み込み、スイーツも楽しみながら、夜にデンパークにて行われる仲秋のあかり祭をゆっくり眺めるような、幸田町・碧南市・高浜市・安城市を巡るツアーを紹介し(図4-9)、秋ツアー2では、秋に見頃となるコスモスマつりを楽しみつつ、日本庭園や刈谷の伝統まつりを味わう安城市・刈谷市・知立市・みよし市を巡るツアーを紹介している(図4-10)。

また、秋ツアー3では、デンソーの技術や歴史を知り、岡崎城で徳川家康の歴史に触れ、豊田市の香嵐溪で秋を感じることができるような刈谷市・安城市・岡崎市・豊田市を巡るツアーを紹介している(図4-11)。

⑦冬のページ

神社にて国重要文化財の多宝塔などの歴史に触れ、豊田市美術館で美術を感じ、夜にイルミネーションイベントを楽しむなど、冬を感じることができるような、みよし市・豊田市・知立市を巡るツアーを紹介している(図4-12)。

⑧イベント紹介ページ

ツアーに加えて、西三河各地で催されるイベントを写真入りで紹介するページも設けた。各種のイベントを、「桜まつり」「花火」「体験」などにジャンル分けすることで、様々な市町のイベントをわかりやすく伝え、足を運んでもらえるよう工夫した(図4-13)。

5. SNS発信

①発信内容

主にInstagramで投稿しており、内容は、飲食店、観光スポットや各種施設、西三河巡り、西三河冊子試作版の紹介と意見収集などである。豆知識や西三河巡りの動画等はTikTokにも投稿した。



図4-9 秋ツアー1



図4-10 秋ツアー2



図4-11 秋ツアー3

図4-12 冬ツアー



図4-13 イベント紹介

飲食店の投稿は、西尾市の『THE ISLAND 吉良ワイキキビーチ店』、豊田市の『Coffee Likes』、岡崎市の『帆季珈琲テラス』、高浜市の『八百甚』などである。カフェやランチなどのメニューの他に、お店の営業時間や支払い方法等の情報、【西三河のだいたいこころへん】の地図を載せた(図5-1)。

観光スポットと各種施設は、みよし市の『石川家住宅』、幸田町の『本光寺』、碧南市の『碧南海浜水族館』、安城市の『デンパーク』、刈谷市の『デンソーギャラリー』などである。施設の特徴のほか、営業時間等の情報と地図を載せた(図5-2)。

豆知識は、『西三河出身の有名人』『西三河の産業』『西三河出身の歴史的人物』などである。イラストや画像とともに簡単な説明を添えた画像を作成した(図5-3)。

西三河巡りは、西三河紹介冊子②観光ツアー案内の内容と同じで、ツアーの様子を『西三河巡り～〇月編～』

として毎月リール動画にした（図 5-4,5-5）。

また、西三河冊子試作版の紹介や、展示・意見収集の日程や開催場所等の告知を Instagram のストーリーや Tik Tok に投稿した。

②閲覧者の反応

掲載したお店からは『ありがとうございます』というコメントや、閲覧者からは『「行ってみたい！」『懐かしいし、嬉しいです。ありがとう』などのコメント、豆知識について『陸上の山本有真選手も紹介してほしい！』といったコメントなどを多く得た。



図 5-1 飲食店の投稿例

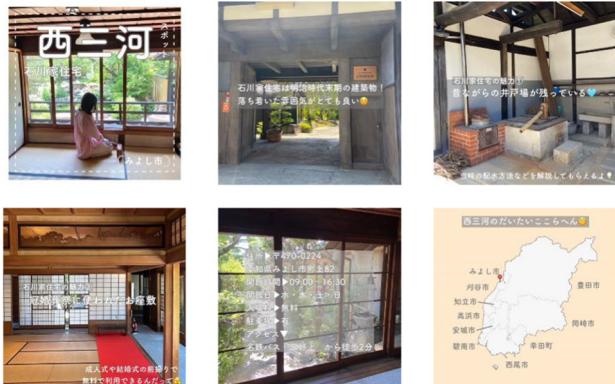


図 5-2 観光スポットの投稿例



図 5-3 豆知識の投稿例



図 5-4 Tik Tok 図 5-5 西三河巡りリール動画

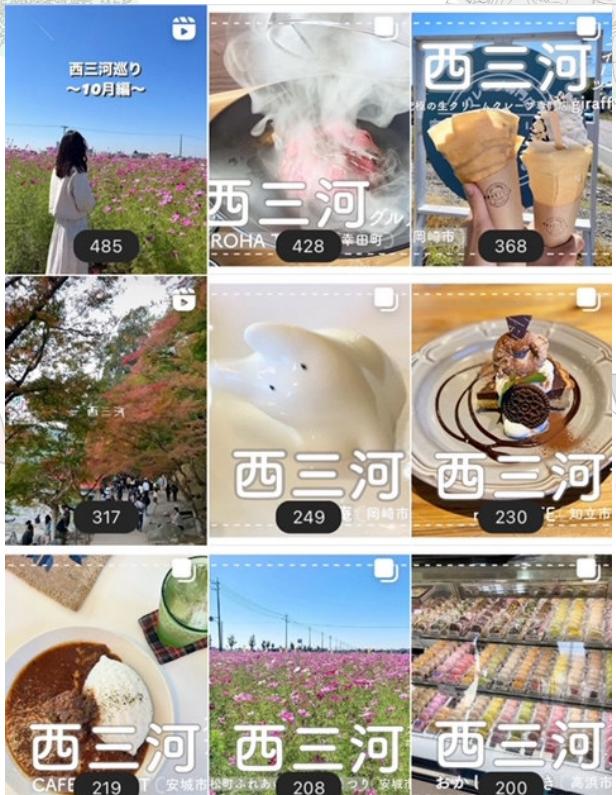


図 5-6 投稿のトップコンテンツ

③アクセス数（2024.1.8 現在）

Instagram の投稿数 78 件、Tik Tok の投稿数 25 件（2024.1.8 現在）、Instagram と Tik Tok を合わせたフォロワー数は 221 人、総いいね！数は 1,235 件である。

Instagram のトップコンテンツは、西三河巡りのリール動画と飲食店の投稿である（図 5-6）。Instagram のインサイトは、7 月からの合計で、リーチしたアカウント数 10,439、インプレッション 22,079 件となった。Tik Tok の総再生回数は 15 万 5 千回を超えるなどの反響があった。

この企画が西三河の地域活性化に寄与できることを願いたい。